

授業科目 治療学演習 II

【担当教員名】 小林 量作、星 孝、非常勤講師		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30 (内 10)
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】					
<p>1. 実習で接する代表的な疾患のADL問題点、目標設定、プログラム立案ができる。</p> <p>2. 学生のグループ発表から模擬事例のプログラム立案・模擬指導ができる。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<p>1. ADLの評価、問題点、目標、プログラムの考え方を習得している。</p> <p>2. 中枢神経疾患のADL指導を習得している。</p> <p>3. 整形疾患のADL指導を習得している。</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ADL評価、問題点、目標、プログラムまでの概論			1	担当：小林 量作
2	片麻痺のADL（グループ討論・実技）			1,2	担当：小林 量作
3	大腿骨頭部骨折のADL（グループ討論・実技）			1,3	担当：小林 量作
4	パーキンソン病のADL（グループ討論・実技）			1,2	担当：小林 量作
5	まとめ（グループ討論・実技）			1～3	担当：小林 量作
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動学・生活環境学（第4版）	鶴見隆正編	医学書院	2012・5,670円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、レポート、実技試験			【履修上の留意点】 実習できる服装		